

序	一
所屬支部一覽表	三
第五回大會決議事項の執行	五
本年度中改善事項	一五
全官業共済組合對策協議會	一六
労働組合法對策全官業労働協議會	一七
通信労働新聞維持擴大後援會	一九
争議部報告	二〇
教育部報告	二三
調査部報告	二四
組織部報告	二四
法律部報告	二六
政治部報告	二六
青年部報告	二八
事業部報告	二八
共済部報告	二九
會計報告	三〇
附錄	三一
選友同志會發展經過	三一

序

第六回大會に報告書を提出するに當つて、過去一ヶ年の戦績を省みると、幾多の苦難と闘ひ努めて尙足らざりし處多しと雖も、同志諸君の健闘は能く多くの試練に堪て、其の成した功績も必ずしも尠しとしない自信をもち得るものである。

資本主義自らが持つ矛盾の擴大は未曾有の世界的不況となつた、而かも之れを打開せんとして資本家階級の撰ぶ途は、労働階級に其の一切の犠牲を轉嫁せんとする所謂産業合理化運動である。

彼等が強行しつゝある産業の合理化は今や労働大衆をして、失業の巷に追ひやり飢餓と窮乏の深淵に陥入れ、切迫せる社會不安に直面しつゝある。

官僚支配階級が此の乘ず可き機會を見逃す筈がない、此の時ぞと許りに我等に投げかけて來たものは財政整理の名に隠れた下級従業員への負擔の轉嫁である、而かも之れを極めて巧妙なる官僚的口實と手段に依つて労働組合破壊の陰謀を遂げんと狂奔して居る事實は見逃せな。

即ち豫め此の事の爲めに用意されてあつた御用修繕團等を手先として隨所に挑戦して來た、工務課、三田、巢鴨等である。巢鴨支部は能く之れに應戦して此の我等労働階級の骨迄もシャブらうとする魔物の正體を曝露し放逐した。

次に擧げなければならないものは、京都に起つた不當解雇問題である、四年八月京都西陣の兄弟が騒起して我等が共同の戦線に起つや、全國的に蜂起せんとする下級従業員の階級の自覺を抑壓せんことに腐心して居た矢先今又京都中央の兄弟が擧げた解放の叫びは彼等としては當然な驚愕である、度を失つた彼等は無暴にも何等根本的理由を示す事なく支部結成の幹部七名を讒首し去つた。不當解雇絶対反對の憤激は全選友の戦線を極度に硬張せしめ最後の決意をなさしむる迄に至つた、時宛も第二次普通選挙戦に直面し、國民總意を反映せしむる重要時期たるに鑑み、自重に自重を重ね、折衝數回問題發生以來廿五日二月十五日に至り遂に二名再採用三名考慮の好條件を以て解決した。

此の事は一面彼等に、より以上の警戒を成さしめたが、反面全國下級従業員への良き刺激となり、名古屋、廣島等に我等の戦線進展し全國的に擴大される希望と確信を強めた。

下